

滋賀県人

第
206
号

発行所

一般社団法人 東京滋賀県人会

東京都中央区東日本橋3-6-20-205
電話 03 (3661) 1180 郵便振替 00180-4-26966
FAX 03 (3661) 5058

発行日 令和7年10月10日

発行人 塚本 弘



Contents

- | | |
|---|----------------------------|
| 会長挨拶 3 | 甲賀市インフォメーション 15 |
| 全国滋賀県人会全国大会2025 4 | 県人会の活動 16 |
| 滋賀と東京、再会と未来を語る 5 | 関係人口交流プロジェクト 17 |
| 大阪・関西万博から滋賀の魅力を発信！
「滋賀県デイ〜びわ湖サマーグルーズ〜」 6 | 全国の仲間と千葉で踊った江州音頭 18 |
| 対談「未来への「タネ」をまき、まちの未来を育む」 8 | ふるさと納税特集 19 |
| 対談「人が主役、自然が舞台。一高島からひろがる未来づくり」 9 | 「ここ滋賀」 22 |
| 第36回 琵琶湖夢街道 大近江展 11 | カメラで巡る
JR湖西線の旅 24 |
| 令和7年総会・懇親会を開催しました 12 | 事務局より 28 |

滋賀県の全小学5年生が乗船体験をする学習船「うみのこ」。
平成30年に2代目が就航

いこうぜ! ♪
滋賀びわ湖
感動のシガリズムトリップ

カラダが
滋賀に
ナル♪

滋賀あるさと観光大使
西川貴教

(公社)びわこビジターズビューロー / 滋賀県

滋賀の観光情報はこちら▶



芸術の翼、はばたく。
滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

Biwako Hall Center for the Performing Arts, Shiga



●びわ湖ホールチケットセンター

TEL 077-523-7136 10:00 ~ 19:00 火曜休館
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1

びわ湖ホール

検索

<https://www.biwako-hall.or.jp/>

ご挨拶

一般社団法人 東京滋賀県人会 会長 塚本 弘



今年の夏は大変な酷暑でしたが、東京滋賀県人会会員の皆様には、ご家族共々お変わりなきことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

全国滋賀県人会連合会の全国大会が、六月二十八、二十九日に大津で十四年ぶりに開催されました。北海道から九州までの各県人会の代表に、米国カリフォルニア、ドイツ、フランスの代表など三百六十人が参加されました。二十八日はミシガン号の船上で前夜祭、二十九日は三日月滋賀県知事の基調講演に続き西川貴教、宮島未奈岡氏を交え「滋賀の未来を語る」トークセッションが行われ、

その後、大津祭、草津サンヤレ踊りなどが披露されました。

大阪・関西万博にも、行ってきました。観客数も徐々に増え、会場も賑わっていました。私は、二〇一〇年の上海万博に日本政府代表として関わっていたので、大阪・関西万博の成功を大変嬉しく思っています。日本館では「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマに、循環についての様々の展示がありました。中国館では、日本と中国の交流の歴史を、鑑真の時代から近年の松下電器のテレビ工場や卓球まで、木彫りで展示していたのが印象的でした。関西パビリオンでは、滋賀県が「びわ湖とともに脈々と」をテーマに、水がたぐ滋賀の自然とくらしを展示していました。

九月二十八日からは、四十四年ぶりの滋賀県開催となる「わたS H I G A 輝く国スポ・障スポ」が始まりました。「湖国の感動 未来へつなぐ」というスローガンの

もと、県内の各地で各競技が行われるので、大いに盛り上がりつつ行きたいと思っています。

十一月二十五日には、首都圏の滋賀県ゆかりの方々が一堂に会して親睦を深める「近江ゆかりの会」が開催されます。この集まりは、滋賀県と東京滋賀県人会が主催し、例年約二百五十人が出席されています。今年もぜひ、皆様方のご参加をお願い申し上げます。また、今回の開催に当たっては、各企業の方々から協賛のご寄付をいただき、厚く御礼申し上げます。

これからも、関係各位のご協力をいただきながら様々なイベントを通じ、楽しく皆様との活発な交流に努めて参りたいと思いますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

最後に東京滋賀県人会のますますの発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

◎「近江ゆかりの会」開催のご案内

首都圏で活躍する「滋賀県ゆかりの人」が一堂に会して親睦を深め、ビジネスなどに活かせるネットワークづくりの機会となるべく開催される交流会「近江ゆかりの会」。今年度も港区白金台の八芳園で開催いたします。

交流会に先立ち行う催しでは、「なんでだろう♪」で大人気のお笑いコンビ、テツandトモのお二人によるスペシャルライブをお楽しみいただきます。

とき…令和七年十一月二十五日(火)

十七時三十分～二十時十五分(開場十七時)

会場…八芳園 一階「満月」

東京都港区白金台「一」

都営地下鉄・東京メトロ 白金台駅二番出口

徒歩一分

会費…四十代以上の方…一万三千円(税込)

二十・三十代の方…八千円(税込)

十代・学生の方…五千円(税込)

内容…開場・受付開始 十七時

テツandトモスペシャルライブ 十七時三十分

お楽しみ抽選会 十八時

交流会開宴 二十時十五分

閉会

主催…滋賀県 一般社団法人 東京滋賀県人会

同封するご案内書裏面の申込書にて、お申込期限迄にお申込み下さい。

同封するご案内書裏面の申込書にて、お申込期限迄にお申込み下さい。

全国滋賀県人会全国大会2025 14年ぶりに開催!!



琵琶湖周航の歌 合唱



トークセッション



国スポ・障スポの激励



大津祭 殺生石山 実演

二〇二五年六月二十九日(日) 大津市の琵琶湖ホテルにて、十四年ぶりに全国滋賀県人会全国大会二〇二五が開催されました。

北海道から九州までの全国各地、また海外はフランス・ドイツ・米国ロサンゼルス各県人会から約三百六十名が参加。東京からは塚本会長、春山専務理事が出席。

まず、来場者を地域別に、参加者エールで歓迎しました。

三日月大造滋賀県知事の基調講演「ふるさと滋賀の二〇二五年〜みんなと一緒にシガ時間〜」のあと、西川貴教氏(ミュージシャン・滋賀ふるさと観光大使)・宮島未奈氏(小説家・『成瀬は天下を取りにいく』で二〇二四年本屋大賞受賞)をゲストに迎え、「滋賀の未来を語る」トークセッションを行いました。

このほか、ステージではふるさととの祭り、大津祭(殺生石山 大津市柳町)・サンヤレ踊り(草津市志那)の実演を交えた紹介や、九月六日に会期前競技が始まる「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の激励コーナーが行われました。

ホワイエ(ロビー)では「滋賀EXPO2025」として県内八軒の物産店が出店。お土産を購入できる場所として好評でした。

最後は恒例の琵琶湖周航の歌で締め、なごやかな雰囲気の中、楽しい一日となりました。

前日二十八日には、ミシガン船上にてウェルカムパーティーも開催されました



滋賀と東京、再会と未来を語る

——カレンダー懇親会

懐かしさと再会の笑顔

二〇二五年六月二十七日（金）、大津駅隣接の人気スポット「ザ・カレンダー」にて、東京滋賀県人会の理事・会員、そして県や市町の行政関係者の皆さまを対象に、非公式の懇親会を開催しました。

東京と滋賀をつなぐ交流の場として企画されたもので、約四十名が参加。会場は終始なごやかな雰囲気包まれました。参加者からは「東京で活動していた頃が懐かしい」との声も多く、思い出話や近況報告が飛び交いました。

東京と滋賀をつなぐ絆

県人会を滋賀からご支援くださる行政関係者や、かつて東京勤務を経験された方々との交流も大きな目的でした。往来を通じて関係を築いてきた皆さまとの語らいは、参加者にとって貴重な学びと励ましとなりました。

交流が生む新たな芽

こうした懇親会は、単なる親睦の場にとどまりません。東京と滋賀を結ぶつながりを深め、参加者それぞれの思い出や経験を分かち合うことで、滋賀に関わり続けたいという想いを新たにする場でもあります。世代や

立場を超えた語らいから、新たなアイデアやコラボレーションの芽も生まれました。

一本締めで未来へ

終盤には一本締めで会場がひとつとなり、滋賀愛にあふれる熱気と共に閉会しました。参加者からは「世代を超えて交流できるのが嬉しい」「滋賀との関わりを改めて実感でき

た」といった声も寄せられ、意義深いひとときとなりました。

人を結ぶ架け橋として

今回の懇親会を通じ、東京滋賀県人会が担う「人と人を結ぶ架け橋」としての役割を再確認できました。今後も交流を重ね、滋賀を想う仲間の輪をさらに広げてまいります。



大阪・関西万博から滋賀の魅力を発信！

『滋賀県デイ〜びわ湖サマークルーズ〜』

滋賀県総合企画部万博推進室 主任主事 松浦 康介

七月二十四日（木）、大阪・関西万博会場内のEX

POホール「シャインハット」にて、滋賀の魅力を発信するイベント『滋賀県デイ〜びわ湖サマークルーズ〜』を開催しました。イベントは、子どもたちの学びや交流の場として親しまれている学習船「うみのこ」でのクルーズをモチーフとし、伝統芸能や音楽パフォーマンス、トークステージなど、第一部と第二部の二部構成で多彩なプログラムを展開しました。多くの来場者にお越しいただき、会場が「滋賀一色」に染まった一日の様子をご紹介します。

びわ湖の学習船「うみのこ」をモチーフとする当イベントは、銅鑼の合図でスタート！彦根市キャラクター「ひこにゃん」、大阪・関西万博公式キャラクター「ミヤクミヤク」も登壇してくれました。続いて登壇したびわ湖ホール声楽アンサンブルによるステージでは、一九七〇年大阪万博のテーマ曲「世界の国からこんにちは」や「琵琶湖周航の歌」などを披露いただき、その素敵な歌声に会場が酔いしました。

第一部では、伝教大師最澄千二〇〇年魅力交流委員会により、比叡山延暦寺で千二百年以上灯し続けられている「不滅の法灯」の特別奉安が行われたほか、滋賀県内で活動するFJB FUJIMI Jr.Band、かか太鼓、下笠参弥礼踊保存会の各団体が出演。第一部の最後には、滋賀県出身の高橋ひかるさん、宮川大輔さん、びわ湖だいすき高校生の黒川琉伊さんに登壇いただき、「うみのこ」での宿泊学習の思い出や、びわ湖に住む生き物の紹介など、滋賀県人ならではのトークで会場

を盛り上げていただきました。

第二部では、この秋に滋賀県で開催される「わたS HIGA 輝く国スポ・障スポ」のPR大使である西川貴教さんと、パラスリートの木村敬一選手に登壇いただき、同大会の魅力や期待を語っていただきました。また、県民団体ステージでは、琵琶湖とオーストリアの形は瓜二つという内容のSNS投稿をきっかけに交流が始まったオーストリアのブルゲンラント州にあるヨーゼフハイドン音楽大学と滋賀県立石山高等学校音楽科による共同演奏ステージが実現。そのほかにも、長浜市のご当地ヒーロー・ヒキヤマン、けいおんストーリーLive実行委員会、滋賀県南京玉すだれ保存会、滋賀県江州音頭保存会、SDC Dance Studio が出演し、音楽やダンス、伝統芸能を披露。イベント終盤には、三日月知事も登壇し、満員の会場を盛り上げました。そして、滋賀県デイのラストは西川貴教さんによるライブパフォーマンスで、大盛況のうちに幕を閉じました。

滋賀県デイを通して、滋賀の文化や歴史、人の魅力を改めて発信する貴重な機会となりました。また、万博会場内「関西パビリオン」（要予約）には、滋賀県ブースを常設し、会期を通して滋賀の魅力を発信しています。大阪・関西万博の会期も残すところわずかとなりましたが、機会があれば滋賀県ブースにお立ち寄りいただきたいのはもちろん、ぜひお知り合いの方々にも紹介いただけますと幸いです。



二〇一〇年上海万博に日本政府代表として関わられた塚本県人会会長も、六月三十日に大阪・関西万博を訪問。日本館と滋賀ゆかりのパビリオンの感想をいただきました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博の観客数も、徐々に増え、会場も賑わっています。世界最大の木造建築物とギネス認定された大屋根リングの上に登ると万博会場が一望出来ます。



大屋根リング



日本館

日本館では「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマに、循環についての様々の展示をしています。

「シグネチャーパビリオン」は大阪・関西万博会場の真ん中に位置する8人のプロデューサーが主導するパビリオンです。この中に滋賀県高島市出身の石黒浩大阪大学教授の「いのちの未来」館があります。縄文時代の土偶から、現在のアンドロイドまで……。さまざまな人の形にいのちを宿してきた、豊かな日本の文化を体験。次に、50年後、100年後の未来シーンでは、人間がアンドロイドと共存し、高度なテクノロジーを用いながらいきいきと暮らす日々を体験出来ます。



「いのちの未来」館



関西パビリオン・滋賀県

関西パビリオンでは、滋賀県が、「びわ湖とともに脈々と」をテーマに、水がつなぐ滋賀の自然と暮らしを展示しています。

「未来への『タネ』をまき、 まちの未来を育む」

米原市

五月二十九日

角田 航也（米原市長）
× 塚本 弘
（全国滋賀県人会連合会副会長・東京滋賀県人会会長）

塚本会長

少し早く米原に着き、青岸寺へ行きました。庭園が美しく、静かでいいお寺でした。近江国守護・佐々木道誉が創建したと伺いました。

角田市長 青岸寺は、国の名勝に指定された枯山水庭園が有名です。美しい庭園を眺めながら喫茶やケーキを楽しめる寺カフェが人気です。

十月になると米原の町に熱気と活気が満ちるのが、米原曳山まつりです。米原曳山まつりは、滋賀県選択無形民俗文化財に指定されており、約二百五十年の歴史を持つ伝統行事です。シャガリの音色を響かせて町中を練り歩く曳山巡行や、時代物と呼ばれる歌舞伎の演目を三味線に合わせて熱演される子ども歌舞伎が見どころです。

塚本会長

米原は小学校の時、醒井に来て水がきれいな印象が残っています。中学生の時には伊吹山に登りました。お花畑がきれいだった事を覚えています。

角田市長



伊吹山は、二年続けたの局地的な集中豪雨の影響により、土砂災害が発生しました。土砂災害の背景には、地球温暖化の影響があ

ります。降雪が少なくなったことで、鹿が越冬して大量に繁殖したことが一つの原因です。山全体の下草を食べるようになり、山の保水力が低下したと考えられます。

塚本会長

鹿の捕獲は出来ないのでしょうか。

角田市長

鹿の捕獲強化に努め、伊吹山で年間三百頭ほど捕獲しています。

鹿の捕獲の他にも、「伊吹山植生復元プロジェクト」を立ち上げ、動物、植物、そして人の最適なバランスの保持を目指して、伊吹山の再生に向けた取組を進めています。土砂災害に対しては、伊吹山保全対策ロードマップに基づき、治山砂防堰堤の整備、南側斜面の復旧対策などに取り組んでいます。地域の宝である伊吹山を守り、後世に引き継ぐために、全力で伊吹山再生に取り組んでまいります。

塚本会長

市長に就任され、大きな政策はどのようなことを考えておられますか。

角田市長

まず、第一は伊吹山を元の姿に戻すことです。次に、人口減少対策。持続可能である自治体でありたいと考えています。新幹線停車駅を有する米原市は、京都、大阪、名古屋、東京へ乗り換えなしで



行くことができ、都市部での仕事を続けながら、自然豊かな米原での暮らしを楽しむことができます。米原市への移住を後押しする移住支援金や新幹線で通勤する場合の定期代の補助などを行い、「米原暮らし」に踏み出す人たちを増やしたいと考えています。

空き家対策にも力を入れています。平成二十七年に「空家等の発生予防、管理および活用推進に関する条例」を制定しました。空き家バンクの取組による県内トップクラスの成約実績や、老朽化した空き家等の取り壊しなど成果を上げています。一方で、空き家の登録物件が不足している状況であり、この不足を解消し、更なる移住定住を促進していきたいと思っています。

塚本会長

地方の高齢化、過疎化も深刻な問題です。米原市ではどのような対策に取り組んでおられますか。

角田市長

高齢化、過疎化に加え、地域コミュニティの希薄化も進み、行政サービスが届きにくくなっています。市役所への移動が困難な高齢者が増えているため、今年度から「移動市役所」の運行を県内で初めて開

始します。マイナンバーを活用したオンライン申請や遠隔相談システムなどを搭載した、様々な用途に活用できるマルチタスク車両を運行し、地域へ安心を届けます。

塚本会長

昨年、米原駅東口周辺まちづくり事業の進出企業が決まったと報道で知りました。米原駅周辺がどのように変わるのか楽しみです。

角田市長

米原駅東口駅前の公有地に、湖北地域に根差した事業者、同地域にゆかりのある事業者で構成された法人グループから「湖畔の魅力と未来の拠点…米原イノベーション・ビレッジ」構想をコンセプトとして、米原駅周辺の地域特性を生かし、産業の活性化、雇用の創出・交流人口の拡大、若い世代の移住定住を促進することで、地域の活気と魅力を高める提案をいただきました。滋賀県の東の玄関口として、三年以内の竣工を目指します。

中心市街地でも飲食店や小売店の新たな開設を支援する制度を創設しており、市内全域に人を呼び込

み、まち全体を活気づけていきたいと思っています。

もう一つ、未来に向けて期待している事業があります。今年度から、本市の地の利を生かし、次世代エネルギーとして注目されている水素の製造供給施設を備える物流中継拠点「複合型エネルギーオアシス」の整備を推進し、物流分野における水素エネルギーの社会実装実現に参画します。

伊吹山土砂災害の背景でもある地球温暖化に対しては、営農型太陽光発電事業の推進、再生可能エネルギーの地産地消などの取組を進めています。

塚本会長

米原市は霊峰伊吹山を擁する自然に恵まれたまちであり、自然を守り、心豊かな暮らしに向けて取り組む市の姿勢に共感するとともに、県人会としてもお手伝いしていきたいと思っています。ご多忙の中、今日は長い時間をいただき、ありがとうございました。

角田市長

引き続き、米原市への御支援をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

「人が主役、自然が舞台。」

― 高島からひろがる未来づくり ―

高島市

六月二十七日

今城 克啓 (高島市長)

塚本 弘 (東京滋賀県人会会長)

春山 俊宏 (東京滋賀県人会専務理事)

六月二十七日には、今城高島市長と塚本県人会会長、春山専務理事による特別対談も行われました。テーマは「人口減少時代における地域の未来づくり」と「首都圏からの応援のかたち」です。滋賀ならではの自然の魅力や人材の課題、そして新しい挑戦について、熱心に語り合いました。以下に対談要旨を掲載いたします。

(全国滋賀県人会連合会会報誌「おうみの風」六十七号に掲載された対談を抄録しました)



角田 航也 米原市長

塚本 弘 東京滋賀県人会会長

■里山の暮らしと水の恵みからはじまるまちづくり

市長は三十年前に京都から高島に移り住み、高校時代から山や里山の風景に魅せられてきたことを紹介。「山や水、そして人々の暮らしが一体となった豊かな風景こそ高島の宝」と語ります。人口減少が続くなか、水や森林といった資源を活かし、新たな仕事や産業を生むことで人々が集まる循環を作りたいと力を込めました。

■東京で伝える「高島の味と魅力」

県人会側からは、首都圏で実施されてきた滋賀の発信イベントについて報告がありました。ビワマスを使った食体験とオンラインでの生産者交流を組み合わせた取り組みは大好評。こうした「食」と「交流」を通じて東京の人々に高島を知ってもらい、実際に訪れてもらうきっかけづくりを続けていきたいとの思いが共有されました。

■空き家再生や温暖化の中での漁業支援

地域には古い建物や空き家が多く残されています。資金面の課題はあるものの、企業や大学と連携し、カフェや宿泊施設などに再生できれば大きな魅力となるはずです。また漁業関係者からは「温暖化の影響で魚がとれにくい」という切実な声も。地域全体でどう支えるかが重い課題として挙げられました。

■外国人材と共に歩むまちへ

企業が積極的にベトナムからの若者を雇用し、住居支援も行う事例が紹介されました。市長も「A

Iやロボットには代替できない人の力があり、特に介護などでは人材が不可欠。外国人を受け入れ、共に生きる社会づくりは欠かせない」と強調。人口減少への対応策として、多文化共生の重要性が語られました。

■若者の県外流出と人材還流への挑戦

滋賀県は、高校数は多いものの大学が少なく、多くの若者が東京へ進学し、そのまま戻らない傾向があります。県人会では、東京で滋賀の企業（ホリゾン社など）をPRし、学生が地元の可能性を再発見する機会をつくる活動を今年から開始。将来、滋賀に戻りたいという若者を増やす狙いです。

■スポーツが地域を元気にする

今年秋に滋賀県全域で開催される「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）。高島市では銃剣道やウエイトリフティング、ソフトボールなどの競技が行われます。市長は「スポーツを通じ、地域の皆さんが元気になることが何よりの収穫」とコメント。また大阪・関西万博でも滋賀ゾーンで地域資源を積極的に発信し、多くの来訪者を迎えたいとの展望が示されました。市長は、万博では「高島市出身の石黒先生のパビリオン（※七頁参照）を見に行きたい」とのことです。

■サッカーを通じた新しい夢

最後に、スポーツによる地域づくりの具体例も紹介されました。元Jリーガーが立ち上げた「ヴィアベンテン滋賀」は、十年計画でJリーグ参入を

目指すクラブ。教育活動にも積極的に、高島の子どもたちに夢を与えています。市としても、こうした活動と地域施設の連携を後押ししていきたいとの考えが示されました。

今回の対談を通じて浮かび上がったのは、

①豊かな自然資源を活かした仕事づくり、②都市部との交流による外への発信、③外国人材を含む人材確保と多文化共生、④スポーツや文化を核とした地域の盛り上げです。

市長は「楽しみながら人が集まり、地域が元気になる流れを作りたい」と語り、県人会側も「東京から積極的に応援していきたい」と呼応されました。

それぞれの取り組みが結びつき、高島市の未来をともに築いていく姿勢が印象的な対談となりました。



（左から）春山 俊宏 東京滋賀県人会専務理事、今城 克啓 高島市長、塚本 弘 東京滋賀県人会会長

第36回

琵琶湖夢街道

大近江展

3月19日（水・祝）～24日（月） 日本橋高島屋S.C.8階催会場にて開催。

会期中好天にも恵まれ多くのお客様にお越しいただきました。

なかでも新企画の親子丼、近江牛、ひつまぶしの3イートインを合同展開した近江レストラン（総合イートイン）は特に好評で、3社合計の売上高を大きく伸ばすことができました。

さらに、新展開のパン企画や「湖のスコール」「石山プリン」「ボレロ」「喜多品」等の新出展商品、昨年に続いて出展の2年目展開商品も好調で、売上は前年比123.3%と大幅増と、2年連続の増加を記録しました。

お楽しみ抽選会場では、近江牛や近江のお茶、また出展会員からの協賛商品などが当たるガラポン抽選会が大人気。外れのない大抽選会でお客様の多くの笑顔が見られました。

また、県人会では、足をお運びいただいた会員の皆様へのささやかなお礼として、粗品を進呈いたしました。



会を開催しました！

9月11日（木）16時より、中央区銀座7丁目の銀座ライオンクラシックホールにて、定期総会を開催。正会員の過半数（委任状提出者を含む）が出席し、成立しました。

令和6年度決算、令和6年度事業報告の審議を行い、出席会員多数の賛同を得て可決されました。

また、令和7年度役員人事についても提案通り可決されました。同封の『総会だより』をご参照ください。

定期総会の後、懇親会を同会場で開催。約60名の当会会員などが出席されました。当日は東京全域があいにくのゲリラ豪雨に襲われてしまいましたが、懇親会が始まる頃には雨雲も抜け、新年会以来半年ぶりに顔を合わせた皆さまで大盛り上がりの会となりました。

京滋賀県人会 懇親会



令和7年総会・懇親



令和7年 一般社団法人東



令和7年 一般社団法人東京滋賀県人会 懇親会



令和7年 一般社団法人東京滋賀県人会 懇親会





2025甲賀流大茶会@日本橋高島屋 開催報告

東京で広がる「近江の茶」の輪

9月15日（祝・月）、日本橋高島屋本店ガレリアコミュニティスペースにて「2025甲賀流大茶会」が盛大に開催されました。一般社団法人東京滋賀県人会は、甲賀市からの委託を受け「甲賀の茶PR事業」として本イベントを実施。首都圏で近江の茶の魅力を伝え、多くの方々とつながりを生み出す一日となり、会場は終始にぎわいました。

日本茶の原点を伝える

伝教大師最澄が中国から持ち帰った茶の種が根付いたのは滋賀・比叡山。日本茶の始まりは滋賀にあります。その歴史を受け継ぐ近江の茶を東京の中心で味わい、学び、分かち合う場となりました。

滋賀茶を支える一大産地・甲賀市

滋賀県産の茶の約9割を担う甲賀市。その自然と気候が生む豊かな風味の近江の茶は、多くの来場者を魅了しました。会場で振る舞われた冷茶や限定販売の商品は大好評で、近江の茶の存在感を首都圏に示しました。

最澄上人のお誕生日に近江の茶で乾杯

大きな目玉となったのが、9月15日・最澄上人の誕生日にあわせて行われた「乾杯セレモニー」です。ご来賓と来場者が一斉にお茶を掲げ、日本最古の茶にまつわる歴史と滋賀の誇りを共有しました。東京の中心で交わさ

れたその一杯は、多くの人々の心に残る時間となりました。

体験を通じて広がる「近江の茶」の魅力

ワークショップ&トークセッションでは、滋賀県茶業会議所事務局長の志和昭一氏が登壇。近江の茶の特色や背景を解説し、実際に淹れたてを味わう体験が行われました。

自らお茶を淹れ、香りや味わいを感じる、この体験こそが首都圏の方々に近江の茶を深く理解していただく大きなきっかけとなりました。参加者からは「滋賀のお茶の奥深さを初めて知った」「暮らしの中で楽しみたい」との声が寄せられ、ファンづくりにつながる時間となりました。さらに「ここ滋賀」での同時開催イベントとの相乗効果もあり、両会場を回遊するお客様の姿が絶えませんでした。

新たな広がりへの一步

今回の大茶会では、首都圏の多くの方々に近江の茶を知り、味わっていただく機会となりました。滋賀県産の茶の約9割を担う甲賀の魅力が、暮らしの中で親しまれるきっかけになればと願っています。ご来場くださった皆さま、そして開催にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

茶どころ甲賀

隈研吾氏設計による新しい道の駅が誕生

隈研吾氏が手がけた！

木の温もりあふれる新拠点

近畿で最初に誕生した道の駅として長年親しまれてきた、甲賀市の道の駅「あいの土山」が、このたび世界的建築家・隈研吾氏の設計により壮麗にリニューアルオープンしました。木の温もりあふれるデザインは、伝統と現代性を融合させ、まさに滋賀を代表する新たなランドマークとなっています。

日本茶の原点はここにあり

滋賀県は、日本茶発祥の地。日本天台宗の宗祖・最澄（伝教大師）が中国から茶の種を持ち帰り、比叡山延暦寺に植えたことが日本茶の始まりと伝えられています。日本最古の歴史を誇るお茶は、今も滋賀を象徴する名産品であり、その中でも甲賀市土山は県内最大の茶産地です。リニューアルした「あいの土山」では、このお茶の魅力を全面に押し出し、訪れる人々に滋賀のお茶文化を体感していただけます。

雨でも快適！

ドライブ途中に立ち寄れる進化した道の駅

施設は駐車場や延床面積を拡張し、全天候型の屋根付きスペースを新設。雨の日でも安心して過ごせる快適な空間が整いました。地元の新鮮な農産物直売所や

滋賀の食材を活かした料理・スイーツを楽しめる飲食スペースも充実し、さらに愛犬と一緒に過ごせるドッグランも備え、ご家族皆様がゆったりとくつろげるスポットへと進化しました。

吉幾三さんも一日駅長！
華やかに盛り上がった記念イベント

オープン記念イベントでは、（一社）甲賀市観光まちづくり協会の観光PR大使の吉幾三さんが一日駅長を務め、クラシックカーやスーパーカーの展示、忍者体験コーナー、地元ダンススクールのパフォーマンスなど、多彩な催しが繰り広げられました。

甲賀から、滋賀
全体の魅力を
首都圏へ

東京滋賀県人会では、甲賀市からの委



託を受け首都圏でのPR事業を行っています。甲賀市での活動をきっかけに、滋賀全体の魅力へも関心を広げていただければと願っています。近江米や鮒寿司、信楽焼や近江商人の文化など、県内十九市町それぞれが誇る魅力とともに、滋賀の多彩な表情を皆様にお伝えしてまいります。

滋賀へ行くなら、
まず「あいの土山」へ！

滋賀にお越しの際には、新しく生まれ変わった「あいの土山」に立ち寄り、豊かな自然、歴史、そしてお茶文化に彩られた滋賀の魅力を存分に味わってください。

鮭の会

毎月第一火曜日を原則開催日とし、滋賀に所縁のあるマスコミ各社、滋賀銀行、滋賀県、「ここ滋賀」、さらに首都圏の各県人会が一堂に会し、イベントの実施予定など周知情報を持ちより、首都圏での情報共有化、マスコミへの取材要請などに努めます。

お声掛け運動

平成三十年十月より、事務局から七十五歳以上の会員（百名弱）の方にお電話による「お声掛け運動」を実施（不定期）し、今までに、おおよそ対象者に二十巡ほどお電話をかけ、日常のお話、ご相談、県人会活動に対するご意見などをお伺いしています。

業務連絡会

これまで幹部会として開催していましたが、令和六年度新体制発足に伴い改編。会長、副会長をはじめ幅広い役員が参加し、毎月一回ペースで当会の主要活動の推進や組織強化、全滋連、関東ブロックへのかかわり方などについて、透明性の高い議論を行っています。

理事会のご報告

八月二十八日（金） 東京滋賀県人会ホールにて開催。会長による全般的な活動報告のあと、令和六年度決算の報告・令和七年度予算・人事などを審議しました。

物故者法要

八月二十八日（金） 理事会に先立ち、東京滋賀県人会ホールにて開催。

毎年八月に、これまでに亡くなられた東京滋賀県人会関係者の霊を慰めるため、物故者法要を開催しています。新たに昨年亡くなられた物故者一名の方の名前を読み上げ、供養いたしました。



物故者法要

AKINDO塾

塚本東京滋賀県人会会長を塾頭に、滋賀県に所縁のある人々や会員同士の人脈形成、ネットワークの構築、知識の向上を支援する目的で、平成二十八年秋以降「AKINDO塾」を定期的に開催しています。

第十九回は、六月二十三日（月）「ここ滋賀」二階「近江牛もりしま 寛閑観」にて、川分陽二氏【フリーバンクキャピタル株式会社 代表取締役社長・彦根市出身】をお迎えし開催いたしました。

「ミスターリスクテイカー」と人は呼ぶリスクを取りすぎるジェットコースター人生の報告」として、投資先三百社、上場実績三十社を誇るベンチャーキャピタル界の第一人者である川分氏に、「経営と成長のリアル」を語っていただきました。



川分陽二氏



第19回 AKINDO塾

講演要旨は東京滋賀県人会ホームページに掲載しています。

「ここ滋賀」発・つながりを育てる交流プロジェクト

滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」を、滋賀にゆかりのある皆さまが気軽に集い、つながる“拠点”と位置付け、首都圏で暮らす方々を対象に、随時・継続的な交流イベントを展開しています。

この取り組みは、「関係人口創出事業」として、主催：「ここ滋賀」、運営協力：一般社団法人 東京滋賀県人会 の体制で実施しています。イベント企画案は幅広い方々から公募され、多様な意見やアイデアが取り入れられる仕組みになっており、さまざまな人に開かれた取り組みであることも魅力のひとつです。

●交流イベントの目的

- ・滋賀県とつながりのある人々のネットワークを強化
- ・首都圏における滋賀ファンの拡大

この秋から来春にかけて、多彩なイベントを予定しています。

ぜひお気軽にご参加ください！

最新情報は東京滋賀県人会Facebook・ウェブサイト・公式LINEにてご案内します。

 最新情報はここから！



参加者の皆さんと懇親会で交流！ 楽しいひととき



過去開催の“滋賀の地酒とチーズの会”の様子

●開催予定イベントのご紹介

「ここ滋賀」交流イベント カレンダー 令和7年 9月ー令和8年 2月

イベント名		9	10	11	12	1	2
文化	近江ゆかりの地と旧東海道 ぶらぶら街歩き ～たけちゃんと行く古地図巡り～ 	好評のうちに終了しました					
グルメ	 滋賀の地酒とチーズの会 	好評のうちに終了しました					
グルメ	 SHIGA CRAFT BEER PARTY @COCOSHIGA	開催予定					
歴史	 歴史講座「国友鉄砲」	11月18日(火) 開催予定					
観光	 信楽の魅力発信イベント	← 開催予定 →					
歴史	 国友鉄砲製造講座	2月10日(火) 開催予定					
観光	 サウナで知る滋賀の魅力	← 開催予定 →					

同窓会を
ひらいて
みませんか？

「ここ滋賀」では、同窓会開催のきっかけづくりを応援しています。滋賀の懐かしい味と地酒を楽しみながら、思い出話に花を咲かせませんか。ぜひお気軽にお声がけください。

同窓会を
ひらいて
みませんか？

「ここ滋賀」では、同窓会開催のきっかけづくりを応援しています。滋賀の懐かしい味と地酒を楽しみながら、思い出話に花を咲かせませんか。ぜひお気軽にお声がけください。

東京にしながら滋賀を深く感じ、仲間と語り合える場をつくることこそ、「ここ滋賀」の存在意義であり、大きな魅力です。これからも「ここ滋賀」を起点とした学びと交流の機会を積み重ね、首都圏における滋賀ファンの輪を広げてまいります。



全国の仲間と千葉で踊った江州音頭

東京滋賀県人会理事 はまもと ガーデンデザイン 浜本 規子

今年の四月、千葉県香取市で「BON DANCE せんのみなとフェス2025」が、開催されました。これは、Linked In (リンクトイン) という、ビジネス特化型SNSで知り合った仲間によるイベントで、二年目となります。

会場「せんのみなと」は「泊まれるキャリア相談所」に加えて、キャリアツーリズムの研究・推進、地域経済創発等に取り組んでいます。

(URL: <https://seminato.com>) 東京駅から

高速バスで八十分かかるその場所に、北海道から九州まで全国から約百名が集結

しました。こつこつ準備を重ねてくださった運営メンバーを筆頭に、まずはラジオ体操からスタート。各自が得意

分野を持ち寄り、手料理、着物の着付け、生演奏等が開催され、会場は独特

の温かい空気と笑顔で包まれました。

私は昨年も参加したのですが、よほど楽しそうに踊っていたのか、主催者

から「二〇二五年・盆踊り担当」を依頼されたのが、今回のきっかけでした。

そして、Linked Inでは、既に「シガール」という言葉が定着しているの

で、盆踊りの冒頭に、まずはシガールが江州音頭を紹介することになったのです。た

だ、幼い頃から親しんできた江州音頭ですが、人前で教えるのは初めて。滋賀から向かう新幹

線の車内で、動画を観てこっそり復習をしました。

いよいよ盆踊りの時間。東京滋賀県人会からお借りしたピンクの法被に身を包み、シガール仲間と県人会会員の笹井純子さんと助っ人の旦那様と舞台へ上

がります。「右手、左手、右後ろ」とマイクで振り付けを説明し、数回練習した後、音楽が流れ出

しました。徐々に輪が動き始め、皆さまの笑顔に満ちた



その景色に、胸が熱くなりました。「完全に江州音頭を覚えちゃったよ」という言葉も、私の心にしっかりと響いています。

続いて、東京、神奈川、埼玉、北海道の踊りが披露され、イベントはひととき賑やかにクライマックスを迎えました。

今回をきっかけに江州音頭について調べたところ、古くから記録がありますが、近江商人が旅する道すがらで、全国に広まったとのことでした。掛け声の「よいとよいやまっか」は、

「宵闇が(徹夜で)真っ赤(朝)になる様」を表現しているそうです。(諸説あります)

それを知った時、ご先祖様の懸命な姿が浮かび、感慨深いものがありました。

そんな江州音頭を、全国の皆様に紹介できた事に、心から感謝申し上げます。

では、皆様、どうぞ、ご一緒に：そりや宵と宵や真っ赤どっこいさのせ



県人会活動のアピールのため、事務局に申請して東京滋賀県人会法被をお借りしました。



自然豊かな近江日野商人ゆかりの地
ふるさと納税のご支援をよろしくお願いします



日野町役場 〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地
TEL 0748-52-6562 FAX 0748-52-2043

個人版 ふるさと納税
商工観光課
E-mail: kankou@town.shiga-hino.lg.jp



企業版 ふるさと納税
企画振興課
E-mail: kikaku@town.shiga-hino.lg.jp





近江牛発祥の地
竜王町
ふるさと納税

お問合せ先 竜王町役場 商工観光課
〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地
TEL (0748) 58-3718 FAX (0748) 58-3730



ふるさと納税で
甲良町を
応援してください！

【問い合わせ先】
甲良町役場 企画監理課
〒522-0244
滋賀県犬上郡甲良町大字在士353番地1
TEL：0749-38-5061
FAX：0749-38-5072



甲良三大偉人
藤堂高虎

ふるさとチョイス



ふるなび



楽天ふるさと納税



auPAY ふるさと納税



ふるさと納税

滋賀県で一番
小さな町から
大きな魅力をお届け



豊郷町役場
窓口…企画振興課
TEL…0749-35-8112
FAX…0749-35-4575

Rakuten



ふるなび



チョイス





輝く人、自然、歴史・文化で織りなす多賀の未来



多賀町ふるさと納税

多賀町役場総務課
〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀324番地
TEL:0749-48-8121 FAX:0749-48-0157

お申し込みは
こちらから

楽天
ふるさと納税



ふるさと
チョイス



ふるなび



【金剛輪寺 三重塔】

滋賀県

愛荘町

ふるさと納税



【丸中醤油 蔵の恵】



【愛知川ひんてまの館】



【クラブハリエ バームクーヘン】



【近江牛】



【UCC コーヒー】





「ここ滋賀」からつなぐ！ ふるさと滋賀の魅力

～ 首都圏で広がる滋賀の輪 ～

ここ滋賀へ
ご案内
します



大阪・関西万博をPR
東京・日本橋に集合！
ミyakミyak
ひこにゃん
わるにゃんご將軍

東京・日本橋の滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」は、令和七年十月二十九日（水）に八周年を迎えます。これもひとえに、平成二十九年の開館以来、東京滋賀県人会の皆さまをはじめ、多くの方々からご支援をいただいたおかげです。ありがとうございます。

今年度も、滋賀ならではの文化・食・人の魅力をお届けする場として、活気にあふれる取り組みを続けてまいりました。今回は、その中でも特に多くの来場者の皆さまにご好評をいただいた企画や、これから始まる注目のプロジェクトなどを紹介いたします。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催されている大阪・関西万博。「ここ滋賀」でも四月に開幕直前のPRイベントとして、万博公式キャラクター「ミyakミyak」、滋賀県彦根市の人気キャラクター「ひこにゃん」、「わるにゃんご將軍」が集まる夢のグリーティングイベントを開催しました。ひこにゃんの登場では、日本橋を行き交う人々が足を止めてスマートフォンを向けている姿が印象的でした。

こうした場面を通じて、首都圏でも万博を盛り上げるとともに、滋賀の魅力を首都圏で暮らす人々に改めて感じていただけたように思います。



左から「ミyakミyak」、「ひこにゃん」、「わるにゃんご將軍」



パレスホテル東京（東京・丸の内）



「きらみずき」水田風景

「きらみずき」
一流ホテルで採用

滋賀県オーガニック米



3体のキャラクターが揃って登場した「ここ滋賀」前は多くのファンでおおにぎわい。

ふるさとの誇りは、東京の一流ホテル「パレスホテル東京」にも広がっています。

（次ページへつづく）

令和六年十一月に本格販売がスタートした、滋賀県が誇るオーガニック米の新品種「きらみずき」が、東京・丸の内の日系ラグジュアリーホテル「パレスホテル東京」にて本格採用されることが決定し、今年七月からホテル内の日本料理「和田倉」にて提供されています。



左：三日月知事と右：パレスホテル東京 総支配人 渡部勝氏

採用決定に際しては、三日月大造知事がパレスホテル東京の総支配人渡部勝氏を表敬訪問し、知事は「世界的にも一流のパレスホテル東京でオーガニック米「きらみずき」が採用されることは誇らしい。これからも、生産者の思いを大切にしながら、環境こだわり農業を継続・進化させていきたい」と述べ、総支配人は「品質を大切にする我々のコンセプトに数あるお米の中でも滋賀県のオーガニック米「きらみずき」が合致した。我々のブランドを発信していくためにもふさわしいパートナー」と語られました。

今後、こうした事例を契機として、滋賀の農産物がより多くの場面で評価され、選ばれることを目指していきます。

滋賀ゆかりの若者と地元の懸け橋 「ここ滋賀ふるさと便」 ついに実現！

今夏、「ここ滋賀」が

新たに始めるのが「ここ滋賀ふるさと便」。

進学や就職を機に、滋賀県を離れ首都圏で新たな生活を始めた若者たちは、

日々の忙しさや生活環境の変化により、次第にふるさととの距離を感じるようになることも少なくありません。こうした若者たちに向けて、滋賀県の魅力やぬくもりを再認識してもらうことを目的に、「ここ滋賀」では「ここ滋賀ふるさと便」を立ち上げました。

この取り組みは、滋賀県の特産品や地元企業の魅力ある商品を厳選し、ひとつの箱に詰め込んでお届けすることで、滋賀県ゆかりの若者に地元との「つながり」を感じてもらおうとするものです。

「ふるさと便」を通じて、頑張る若者にエールを送り、いつでもふるさと滋賀を身近に感じてもらうことで、若い世代と地域のつながりを育み、今後の「関係人口」の創出にもつなげていきたいと考えています。

滋賀ゆかりの皆さまのあったかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。（詳細は「ここ滋賀」ホームページをご覧ください）



画像はイメージです。

新たな役割 若者たちの挑戦を 応援する場「ここ滋賀」

「ここ滋賀」では、滋賀県内の大学や高校と連携した、学生による販売会も積極的に行っています。

この夏には、立命館大学食マネジメント部の学生団体「ぎゅっと滋賀」が、地域と連携して開発した商品（ころっ茶）の販売会を実施。学生たちが実際に現地へ足を運び、素材の選定から試作、パッケージデザイン、販路開拓に至るまで、商品全体をプロデュースし、新たな滋賀の魅力を東京・日本橋で発信しました。

また、十一月、十二月には県内高校（安曇川高校、大津商業高校、八幡商業高校）による販売会も予定しています。高校生たちが、自分の言葉で滋賀の魅力や産品を発信することは、まさに次世代のアンバサダーと呼べます。首都圏に暮らす県人会の皆様にとっても、彼らの頑張る姿はかつての自分を思い出すような、心あたたまる場面になるのではないのでしょうか。

「ここ滋賀」は、単なるアンテナショップや観光案内所ではありません。滋賀を愛する人たちが集い、語り合い、未来をともに描いていく、そんな「場」でありたいと考えています。首都圏で暮らす滋賀県ゆかりの皆さまにとって、ふるさととの距離をぐっと縮める入り口になれるよう、これからも「ここ滋賀」は挑戦を続けてまいります。

ぜひ、お近くにお越しの際は気軽に立ち寄りいただき、いまの滋賀を感じていただければ幸いです。



〒103-0027 東京都中央区日本橋2-7-1

営業時間：1F マーケット・バー・総合案内

10:00 ~ 20:00

TEL03-6281-9871

2F レストラン 平日 11:30 ~ 14:30 / 17:00 ~ 22:00

TEL03-6281-9872

土日祝 11:30 ~ 15:30 / 17:00 ~ 21:00

※営業時間は変更となる場合がございます。

定休日：年末年始

<https://cocoshiga.jp/>

東京メトロ、都営地下鉄日本橋駅B6・B8出口からすぐ

JR東京駅八重洲北口から徒歩6分

無料巡回バス／メトロリンク日本橋駅「地下鉄日本橋」停留所最寄り（東京駅八重洲口より約10分間隔で運行）



公式HP



オンラインショップ

カメラで巡る JR湖西線の旅

森岡 進一（近江八幡市出身）

JR湖西線

京都の東に位置する琵琶湖の周辺には、東日本へと通じる東海道・中山道・北国街道・西近江路など主要な街道が集中し、琵琶湖自体も水運が発達した交通の要衝でした。日本海に臨む敦賀や小浜へ海路輸送された、蝦夷地の産物、奥羽・北陸の米、日本海の塩や干魚・塩魚など、荘園年貢や民間の商業物資は、琵琶湖北岸の塩津・海津・今津の港へと陸送され、そこから船で南岸の大津や坂本に送られ、更に陸路で京都に運ばれていました。東岸の朝妻（現在の米原市）からは、中山道を通ってきた物資が船積みされていました。このような流通経済を背景に、戦国期以降、織田信長の安土城をはじめ、この地を重視した名だたる大名の居城が置かれました。また鉄道やトラック輸送が発達する以前は、琵琶

江若鉄道は、浜大津と近江今津を結んでいた私鉄で、昭和6年の全線開通以降湖西の足として親しまれてきました。しかし、旧国鉄湖西線にその使命を譲り昭和44年に廃止されました。湖西線は、旧国鉄によって琵琶湖西岸の旧江若鉄道に代わる基幹路線として昭和49年に開業しました。特徴は、何といっても踏切が1つもないことです。関西と北陸方面を直結する短絡線として作られたため、大部分の区間が高架化され、山もトンネルを通すことで急カーブがなく、高速走行をするための路線です。この区間を走る特急サンダーバードや新快速は、最高時速130kmで走行します。

湖西線は0キロポストのある山科駅を起点、近江塩津駅を終点とする路線距離74・1km、駅数21駅、山科駅からは全ての列車が京都駅まで直通しています。一部列車は近江塩津駅から北陸本線に乗り入れて、北陸新幹線にも接続する敦賀駅まで至ります。車窓を流れる景色も関西随一で、沿線の東側には日本一大きな琵琶湖の雄大な姿を、遮る物なく楽しむことが出来ます。西側には自然豊かな山々が望めて絶景です。一方、湖西線は、強風や大雨の影響を受けやすい路線で、遅延が発生していると関西地区の駅構内ディスプレイの

湖湖北から丸子船で湖上を大津へ、さらに琵琶湖疎水、インクラインを経て京都へと船の道は繋がっていました。さらに高瀬舟で伏見へと下って大阪へ向かいました。

昭和46年、司馬遼太郎は「週刊朝日」で『街道をゆく』の連載を始めました。その記念すべき第1回の舞台に、近江の「湖西のみち」を選びました。巻頭「近江」というこのあわあわとした国名を口ずさむだけでも、私には詩がはじまっているほど、この国が好きである。今回の「カメラで巡る」は、どこを歩いても琵琶湖が見え、緑が一杯で、その美しい風景に心が安らかくなってゆく思いがする湖西を訪ねる、昨年7月20日に開通50周年を迎えたJR湖西線（ローカル線百選）の旅としました。

地図上に光って表示される路線は、ほぼ100%の確率で湖西線です。

【京都市の駅】

●山科駅…JR湖西線の0キロポストの駅です。JR琵琶湖線と京阪京津線の乗換駅で、山側には琵琶湖疎水があります。

【大津市の駅】

●大津京駅…一日乗降客数17284人（2022年度駅別乗降客数、以下客数のみ記述）

徒歩圏内には、大津市歴史博物館、皇子山総合運動公園には野球場や陸上競技場があります。びわ湖大津館は、昭和9年に琵琶湖ホテルとして竣工した近代建築で「湖国の迎賓館」と呼ばれていました。平成14年にこの建物を中核施設に柳が崎湖畔公園が開園、外輪船ミシガンが



湖西線新快速



琵琶湖疎水第1トンネル西口洞門



湖西線0キロポスト



特急サンダーバード

発着するほかイングリッシュガーデンもあります。天智天皇が遷都した古都近江大津宮の跡地に創立された近江神宮は、百人一首で有名です。

●唐崎駅…一日乗降客数6746人

※湖西湖辺の道…古代の面影が多く残る道で西近江路の天津の札の辻を起点として北上しています。小関越えから、道標のある北国橋で、琵琶湖疎水を渡ります。疎水が琵琶湖の水を京都へ送る為に明治18年に工事が開始され、北国橋よりすぐ東側の三保ヶ崎の取水点から取水し、西側の天津閘門を経て京都へ向かっています。この『琵琶湖疎水』は本年5月16日国宝に答申されました。道は、近江八景『三井の晩鐘』で知られた三井寺から唐崎に出ます。下阪本の町並みは落ち着いた風情が残る天下の名城と云われた坂本城址の碑が佇んでいます。

■唐崎神社…唐崎と云えば松と云う位に、唐崎の松は古来より人々に愛でられてきました。松を植えたのは舒明天皇の頃、創建は持統天皇の頃とも云われているようです。この地がかつて大津京の貴人たちが舟遊びをしたことは間違いなくと云われます。近江八景『唐崎の夜雨』や歌枕の地として知られ、松尾芭蕉は『辛崎の松は花より朧にて』と詠んでいます。現在の松は何代目の松かなと、そっと触れてみました。

●比叡山坂本駅…一日乗降客数10370人

※湖西湖辺の道…坂本は、日吉大社と延暦寺の門前町として、北国や東国からの物資を比叡山や京都へ運ぶ水路と陸路の要衝となり、なかでも坂本港は琵琶湖舟運の拠点となりました。また全国からの参拝者は坂本に宿をとり、日吉大社に詣でたあと延暦寺に上りました。こうした日吉大社と延暦寺の習合のもと坂本は宗教都市として発展します。現在の坂本は、延暦寺（名利巡礼古寺百選、平成百景、新日本旅行地百選）の東の玄関口として、また全国3800社の「山王さん」の総本山日吉大社（日本神社百選）の門前町として知

られ、穴太衆積みの石積みで囲まれた里坊群の町は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。隠居した僧侶の住居を兼ねた里坊の庭や石垣の道など門前の風景を訪ねて観て下さい。延暦寺と琵琶湖の一大パノラマを訪ねるには日本一長い2025mの坂本ケーブルカーが便利です。琵琶湖八景『煙雨比叡の樹林』、比叡山延暦寺の杉と香（かおり風景百選）、比叡山ドライブウェイ（日本の夜景百選）は素敵です。

●おごと温泉駅…一日乗降客数10444人
徒歩21分には滋賀県唯一の芸術大学の成安造形大学があります。おごと温泉は、全国でも珍しい日の出が楽しめる温泉地です。露天風呂から目の前に広がる琵琶湖を一望しながら眺める日の出はまさに絶景です。

●堅田駅…一日乗降客数14286人
■堅田の浮御堂…近江八景『堅田の落雁』に描かれている浮御堂は、正式名称を「臨濟宗大徳寺派満月寺」

（につぼん心の仙像百選）といい、平安時代に源信が湖上安全と衆生済度の為に建立したと云われます。歌枕の地として知られ、松尾芭蕉は『鎖あけて月さしいれよ浮御堂』と詠んでいます。琵琶湖大橋、「道の駅びわ湖大橋米プラザ」へはバスで10分です。

●小野駅…一日乗降客数4746人。すぐ近くに琵琶湖を望むことが出来ます。

※湖西湖辺の道…古代豪族小野氏は、近江国の南西部に位置する滋賀郡北部の堅田付近を中心とした地域に勢力を広げていました。小野の地には小野神社が鎮座し、有名な小野氏の人物を祀る摂社や境外社が多くあります。古代の有名な小野氏といえば、遣隋使の小野妹子（小野妹子神社）、妹子の子で天武天皇に仕えた太政官兼刑部大卿大錦上にまで登りつめた小野毛人、平安時代前期の漢学者や歌人で参議の小野篁（小野篁神社）、世界三大美人に数えられた平安時代前期の六歌仙である女流歌人小野小町（小野神社）、平安時代中期に三蹟と呼ばれた能書家の小野道風（小野道風神社）等が有名です。鳥居の手前わきには神田があり、本殿前の両脇の石造物が重ねた餅をかたどっているのは餅の神様ならでは。菓子作りの神様としても崇められています。



大津京駅



びわ湖大津館



延暦寺根本中堂
(改修中)



浮御堂



琵琶湖大橋



琵琶湖疎水第1トンネル洞門



車窓 (三上山)



唐崎神社



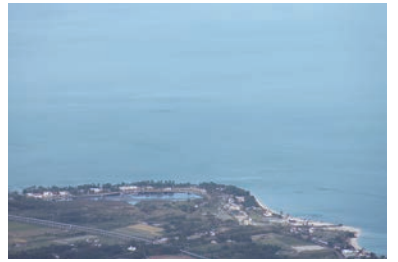
石積みの町坂本

●和邇駅…一日乗降客数3896人。滋賀県の難読駅名です。和邇の地名は、古代豪族和邇氏由来です。

●蓬萊駅…一日乗降客数1744人。白砂青松で波も穏やかな蓬萊浜があり、ウォータースポーツが楽しめます。



びわ湖テラス



近江舞子内湖・遠望



北小松の町並み



小野妹子神社



冬の比良山系



雄松崎の白汀

●志賀駅…一日乗降客数1690人。琵琶湖に最も近い駅です。高架が高くなっている志賀～近江舞子間は、

車窓の眺めが特に良くお勧めです。

■びわ湖バレイロープウェイ…360度ガラス張りの車内からは、天気良ければ京都市内や大阪のビル群まで見られます。標高1100mの山頂には眺望を楽しめるウッドデッキ「びわ湖テラス」があります。

●比良駅…一日乗降客数2868人。徒歩18分にはびわこ成蹊スポーツ大学があります。

●近江舞子駅…一日乗降客数1462人

※湖西湖辺の道…琵琶湖周航の歌『松は緑に 砂白き 雄松が里の 乙女子は 赤い椿の森陰にはかない恋に泣くとかや』と歌われ、琵琶湖八景『涼風雄松崎の白汀』と風光明媚な地として知られる大津市志賀町雄松崎（日本の白砂青松百選）は、今は近江舞子と呼ばれるています。住居表示の地名に近江舞子はなく大津市北小松・南小松です。

●北小松駅…一日乗降客数484人

【高島市の駅】

●近江高島駅…一日乗降客数1350人

※湖西湖辺の道…高島市は、明治維新まで大溝と呼ばれる、小藩ながら分府候2万石の城下町でした。町並みを走る水路、琵琶湖の内湖乙女ヶ池、打下集落の水面利用の伝統的集落景観が『大溝の水辺景観』として国の重要文化的景観に選定されています。

■ハツ淵の滝（日本の滝百選）…比良山系最高峰武奈ヶ岳の北東に端を発する鴨川源流にかかる名瀑で、8つの淵があります。

■畑の棚田（日本の棚田百選）…比良の山裾に幾何学模様広がる359枚の棚田で景観的にも日本の原風景と高く評価されています。

●安曇川駅…一日乗降客数2736人

※湖西湖辺の道…『道に志し、孝を尽くし、徳を養う』とその生涯を貫いた近江聖人中江藤樹。藤樹書院跡や藤樹神社や近江聖人中江藤樹記念館などの史跡があります。駅から徒歩12分に「道の駅

※湖西湖辺の道…『街道をゆく 湖西のみち』に「北小松の家々の軒は低く、紅殻格子が古び、厠のとびらまで紅殻が塗られて…それが粉雪によく映えて、こういう漁村が故郷であったならばどんなに懐かしいだろうと思った」という一節があります。北小松の町は今も家々が残っており共感することが出来ます。雄松崎を過ぎると高島市です。湖中に輝く白髭神社の鳥居が見えます。延命長寿で知られる白髭神社には参拝客

が後をたちません。与謝野鉄幹と晶子が『しらひげの神の御前にわくいつみこれをむすへは人の清まる』と詠んでいます。晴天の日に社殿前から見渡す琵琶湖の眺望は、まさしく心が晴々として清まるような心地になります。近くには鶴川四十八躰仏があり、今も現地に残る33体の大きな石仏群が静かに湖を眺めています。



畑の棚田



大溝城跡



近江高島駅



白髭神社



針江・生水の郷



針江の川端



藤樹書院跡



乙女ヶ池

藤樹の里あどがわ」が、また人と文化の行き交う鯖街道の町朽木へはバスで35分です。

●新旭駅…一日乗降客数1996人。駅前に観光物産展示直売所「たかしま・まるごと百貨店」があります。立ち寄ってみて下さい。

■針江生水の郷（平成の名水百選）…針江地区を流れる伏流水が湧出しているもので、川端と呼ばれる仕組みを用いて暮らしに利用され、この地域独特の川と生活が密着した美しい風景を作り出しています。まず、各家庭の元池から湧き出した生水が坪池に入り、その水は、料理・野菜洗い・洗顔に使われた後、端池に流れ込み、そこで沢山の鯉を飼い、鯉が料理の残飯などを食べて水が浄化された後は家の前の小川に入り、や

が琵琶湖に流れて行く仕組みになっています。『高島市針江・霜降の水辺景観』として国の重要な景観に選定されています。現代に通じるエコシステムを学んでみませんか。

●近江今津駅…一日乗降客数3322人

・竹生島への定期観光船が運航している今津港へは徒歩5分です。竹生島へは今津港長浜港どちらからでも乗船出来ます。途中には琵琶湖周航の歌資料館があります。また、びわ湖の見える丘からの眺望が楽しめる箱館山へはバス20分です。

・ヴォーリズ通りに、今津ヴォーリズ資料館、日本基督教団今津教会や旧今津郵便局と、琵琶湖畔にユートピア建設を夢見たヴォーリズ建築が並んでいます。

※湖西湖辺の道…今津浜の松並木を北へ向かうと、西近江路と湖上交通の要衝として栄えた宿場町であり港町でもある海津です。湖岸に降りてみると、波風から家を守る為に築かれた石積み、真っ白い城壁のように続いています。賑を閉じると越前敦賀からやってきた商人たちの声が聞こえてきそうです。北陸の物資が今度は舟路、大津方面へと運ばれて行くのです。

●近江中庄駅…一日乗降客数218人

■湖西の松林（日本の白砂青松百選）…高島市マキノ町・今津町の約8km間に続く2千本を越える黒松の並木です。

●マキノ駅…一日乗降客数502人

■マキノサニビーチ（快水浴場百選）…駅から徒歩5分にあるサニビーチは、湖のテラスの大きなゲートの先に



今津港



竹生島



ヴォーリズ資料館



四足門



丸子船



菅浦の湖岸集落



秋のメタセコイア並木



桜の海津大崎

静かなビーチと琵琶湖が広がります。

■マキノ高原のメタセコイア並木（新・日本街路樹百景）…ここには2024年4月オープンの見どころがあり、馬に乗って並木道を散歩することが出来ます。

■海津大崎の桜（日本のさくら名所百選）…樹齢80年を超えている約800本が湖岸に延々4kmわたって咲き誇り爛々たる風情です。琵琶湖八景『暁霧、海津大崎の岩礁』の地で、船から望む景色も人気です。

・琵琶湖をはじめとする河川や内湖、湖岸の石積み、共同井戸、知内（ちうち）で続けられている伝統のヤナ漁など多様な水文化が『高島市海津・西浜・知内の水辺景観』として国の重要な景観に選定されています。（水の郷百選）

●永原駅…一日乗降客数174人

※湖西湖辺の道…琵琶湖の北端は、奥琵琶湖と云われ湖岸まで山がせり出している美しい地形です。京へ向かう湖上交通の拠点として栄えた大浦の町には「北淡海・丸子船の館」が、足を延ばして南に下がる

と、白洲正子が愛した「かくれ里」と称される静寂で神秘的な歴史の里「菅浦」に辿り着きます。葛籠（つづみ）尾崎の麓に静まった家々は、まさに隠れ里といった風情で肩を寄せ合っ

ています。かつての監視門であった茅葺きの四足門（しそくもん）をくぐると、そこには懐かしい漁村の風景が広がります。淳仁天皇を祀る須賀神社では、石段手前からは素足でお参りするのが習わしとか。この集落に残されていた文書「菅浦文書」は国宝です。『菅浦の湖岸集落』として国の重要な景観に選定されています。

【長浜市の駅】

●近江塩津駅…一日乗降客数256人（他路線含む）湖西線の終点駅で、北陸本線（敦賀駅～米原駅）への乗換駅です。北陸本線、琵琶湖線と乗り継いで、ぐるっと琵琶湖を一周してみませんか。



近江塩津駅

*おわりに

万葉人や芭蕉や与謝野鉄幹・晶子らが愛でた近江八景、琵琶湖八景、まだまだ沢山ある百選スポットなどの名勝が連なる琵琶湖の西を走る湖西線。山が湖に迫る際きわは、古（いにし）えより一筋の道でした。様々な時代の歴史が投影され、幾多の文化が織りなす浪漫の道でした。琵琶湖を舞台に四季折々のハーモニーに心ときめく素敵な湖西線が益々素敵に見えるように、諸事情はあるでしょうが、自然体ですと人と自然を大切にすることを忘れずに、大切な有形無形の文化財と琵琶湖を守って頂きたいと思ひます。

（参考資料）

- ・サンライズ出版『湖西湖辺の道』
- ・旺文社『滋賀県のトリセツ』
- ・（株）マイクロマガジン社『これでいいのか滋賀県』
- ・小学館『サライ2012年6月号』
- ・（株）マイナビ出版『日本のすごい鉄道』
- ・（株）帝国書院『地図で訪ねる歴史の舞台』
- ・HPびわ湖高島観光ガイド
- ・公益財団法人滋賀県文化財保護協会・新近江名所園會

事務局より

●東京滋賀県人会ウェブサイト

<https://imashigajp/>

令和5年10月にリニューアルオープン！
より見やすく、わかりやすくなりました！
県人会の活動・行事の紹介や滋賀の魅力・
歴史・文化を紹介するブログも更新中！



●東京滋賀県人会Facebook

<https://www.facebook.com/東京滋賀県人会-1013229665488825/>

「ここ滋賀」や歌舞伎座で開催するイベント
の最新情報などはこちら！



●YouTube 東京滋賀県人会チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCpiN-9K5TmCqdO7wyEW5Kgw>

「滋賀の歴史夜話」バックナンバーなどの歴史
動画や県人会のイベントのほか、ふるさと
滋賀の風景・バーチャル寺社参拝など、
県人会ならではの動画コンテンツも充実！



●HP・会報誌への投稿募集

東京滋賀県人会では、会員の皆様からの近況報告、趣味、
旅行、日本社会や世界への提言、随想など、バラエティー
豊かな投稿記事を募集しています。

現在、特に俳句・川柳などの投稿を大募集しています。投
稿いただいた記事は東京滋賀県人会ウェブサイトに掲載し、
その中から選りすぐったものを会報誌にも掲載いたします。
皆様のご投稿をお待ちしております。

(HPに掲載された方には、東京滋賀県人会オリジナルQUO
カード1000円分を進呈いたします)

投稿先は：

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-20

グランスイート東日本橋スクウェア205号室

東京滋賀県人会事務局 会報誌担当

Mail : tokyo@shigakenjinkai.jp

●編集後記

「今年の夏は例年になく暑く…」というご挨拶がむしろ例年
のものとなり、ついに連日国内のどこかで40度台が記録さ
れ、大変な時代の到来が実感されます。

一方で、今年の関西・滋賀は、春から秋にかけての大阪・関
西万博、秋の国スポ・障スポと、日本、そして全世界から様々
な人が集まるという、賑やかな上半期となりました。

この数十年に一度のイベントが重なる稀有な一年をきっかけ
に、ふるさと滋賀の夏が、異常気象の「暑さ」よりも人々の
盛り上がりの「熱さ」で盛り上がるようになればと願います。

東京滋賀県人会 法人会員の皆様のご紹介 (令和7年9月現在)

アインズ(株)東京支店	千代田区
Ascent Business Consulting(株)	港区
(株)老三壺	京都市中京区
伊藤忠商事(株)	港区
(株)永昌堂	中央区
エステックサービス(株)	大田区
ENWA(株)	大阪市西区
(株)近江ミネラルウォーターサービス	大津市
太田酒造(株)東京営業所	足立区
大塚オーミ陶業(株)	千代田区
大星岡村(株)	中央区
(株)オクタゴン	港区
(株)叶匠寿庵	大津市
(株)鹿深サービス	甲賀市
川島酒造(株)	高島市
(株)関西みらい銀行	大阪市中央区
木村水産(株)	彦根市
丘峰喫茶店・能美舎	木之本町
協同組合ビジネス21支部	港区
(一財)近畿健康管理センター東京事業部	江東区
元三フード(株)	大津市
江州技研(株)	台東区
(株)光洋社	新宿区
(公財)湖国協会	武蔵野市
こころ農園	大津市
(株)三和開発	米原市
滋賀近交運輸倉庫(株)	長浜市
(株)滋賀銀行東京支店	中央区
滋賀県青年団体連合会	大津市
滋賀県東京本部	千代田区

(株)静永事務所	港区
清水惣(株)	千代田区
社会保険労務士法人久禮事務所	世田谷区
昭和西川(株)	中央区
(株)数寄和	杉並区
ゼッターリンクス(株)	荒川区
全国農業再興推進研究開発機構	目黒区
(株)大生産業	野洲市
(株)高島屋日本橋店	中央区
たねやグループ	近江八幡市
チョーギン(株)	墨田区
(株)トランプ	港区
中田商店	八王子市
(株)ナカノアパレル	中央区
長浜浪漫ビール(株)	長浜市
(株)西川	中央区
日本ロジテム(株)	港区
(株)布引焼窯元	東近江市
(株)ネオファルマ	中央区
農事組合法人グリーンティ土山	甲賀市
(一財)東日本橋真宗会堂維持財団	中央区
(公社)びわこビクターズビューロー	大津市
(株)びわこフード	近江八幡市
(株)マルヨシ近江茶	甲賀市
メルクロス(株)	中央区
森島商事(株)	竜王町
柳屋ビルディング(株)	中央区
ヤマ庄陶器(株)	甲賀市
(株)RoseUniverse	守山市

(五十音順敬称略)



菜々緒は、 30年ムアツ。



SHOWA
NISHIKAWA

本社 東京都中央区日本橋浜町 1-4-15 <http://www.showanishikawa.co.jp/>
商品のお問い合わせ（お客様相談窓口） 0120-711-033 受付 10:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）

DESIGN

ADVERTISEMENT
SALES PROMOTION
SYMBOL MARK
LOGOTYPE
PACKAGE
POP
LABEL
BUSINESS CARD
STATIONERY

印刷

HOUSE ORGAN
BOOK
PUBLISHING
BOOKLET
PAMPHLET
CATALOGUE
POSTER

& デザイン

PRINTING

広告制作。

株式会社 光洋社
〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町564番地田中ビル3階
TEL03-6302-1645 FAX03-6302-1675



近江牛
 冬 毛利志満
 MORISHIMA
 since 1879

明治十二年創業。
 自社牧場では、代々継承する肥育技術にて
 丹精込めて牛を育てています。
 自社レストランと精肉店「毛利志満」でのみ
 その味をご堪能いただけます。
 毛利志満の牛に、近江の文化・歴史をのせ
 スタッフ一同心を込めてお届けします。

近江八幡店 | 滋賀県近江八幡市東川町 866-1
 Tel: 0748-37-4325

長浜黒壁店 | 滋賀県長浜市元浜町 11-27
 Tel: 0749-62-6115



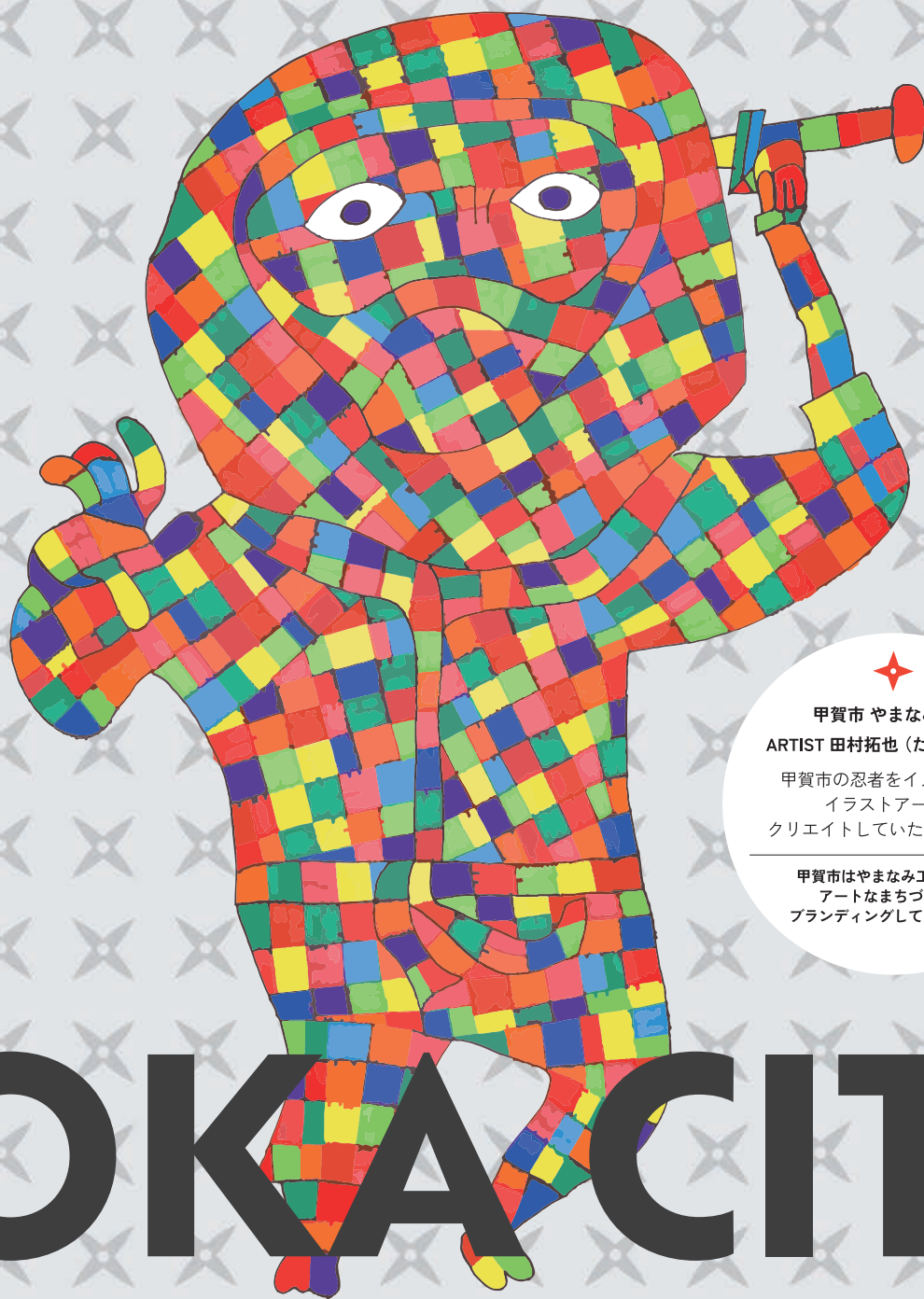
森島商事株式会社 本社: 滋賀県蒲生郡竜王町山之上 2481
 Tel: 0748-57-0005

琵琶湖の水産業を本気で何とかする会

事務局長 春山俊宏

yoshihiro.haruyama.19710428198@gmail.com

皆の衆！甲賀市へ
ふるさと納税
お頼み申す ✦



✦
甲賀市 やまなみ工房
ARTIST 田村拓也（たむら・たくや）
甲賀市の忍者をイメージした
イラストアートを
クリエイต์していただきました。

甲賀市はやまなみ工房さまと
アートなまちづくりを
ブランディングしております。

KOKACITY

気になる返礼品はここからチェックするのじゃ！ ▶



歌舞伎座の地下

こ びき ちょう
本 挽 町 広 場

お土産処 お食事処 お弁当処を常設し
各種屋台が約 20 台出店
ウキウキワクワクの楽しい広場です！



東京メトロ日比谷線・都営浅草線「東銀座」駅直結

歌舞伎座サービス株式会社

東京都中央区銀座 4-12-15 TEL 03-3545-6554

営業時間 10:00~18:00